

松 濤 の 風

No. 33 2006. 6. 12

渋谷区立松濤中学校 SHOTO Junior High School Tel. (3469) 2451・2452

<http://academic1.plala.or.jp/shoto/>

【教育目標】○みんなを愛する生徒 ○自ら学び考える生徒 ○生き生きと活動する生徒

集 団 と 個 性 の 伸 張

副校長 関口 慶朋

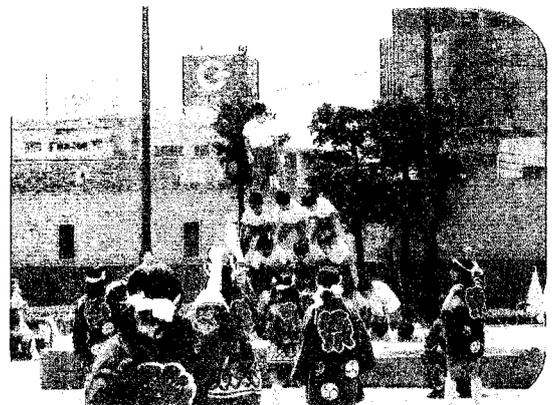
今年度も、大向地区体育会との合同開催により、5月21日に晴天に恵まれ、運動会が行われました。今年度より各学年2学級となり、新たな伝統と同時に団結に満ちた運動会となりました。多くの来賓の方、地域の方々、そして保護者の皆様に感謝申し上げます。

ところで、個人の学習である教科の授業と集団で行う運動会のような学校行事との関連を考えると学校における集団と個人についていろいろと考えさせられます。本来学校の集団活動は個人の力を結集することによって大きな力となり、一方集団活動の体験を通して個人が成長するというものでした。運動会や合唱コンクールなどで得た感動が学校や学級への帰属感を高め、友情を育み、それが学習意欲にも結びついていくというのが理想でした。

ところが最近では集団が重荷だという子どもが増えてきたと言われます。また、集団活動は個性を奪うという主張も耳にすることがあります。学校は決められた教育課程の基でしか行えないため、親の希望に合わないという意見もあります。現にアメリカでは同じ意向を持った親たちがつくるチャータースクールが認められどんどん増加していると聞きます。個性を伸ばすことと公立学校での教育とは矛盾しているのでしょうか。集団活動が個性を伸ばすことと集団活動が個性の伸張を抑制しているのでしょうか。この集団における個性については昔から問題にされていたことなので、改めて考えてみたいと思います。

個性を端的に知るには、自分の長所・短所をどう考えているのかでわかります。しかし、子どもは自分の短所はすぐに言えても長所はなかなか言えないものです。

個性は「他の人と違う性質」ですから他の人を意識していないとわからないのです。自分の個性を知るには、他の人たちと同じことをして見て、初めて違いが分かるのです。ですから、集団行動は個性発見の場でもあります。我慢してやり遂げる体験や集団の中で自分を押さえる経験も必要です。こういう体験が自分の個性を認識し、個性を伸ばすためには何ができるかを考えさせるれる人間を育てていくのではないのでしょうか。



第7回 東京都障害者スポーツ大会

5月27日(日) 駒沢オリンピック競技場にて小雨の中で行われました。全力で走る徒の姿に多くの声援が送られました。(3年生は修学旅行のため参加できませでした。)

白武 遼	100M走	第5位	谷 晃輝	100M走	第1位
田中 冬希	100M走	第4位	寺山 浩之	100M走	第4位
古山 永太郎	100M走	第2位	米山 一仁	100M走	第1位
眞木 耀平	100M走	第1位	松山 愛	50M走	第1位

松 濤 中 の 伝 統 と 新 し い 風

運動会実行委員長 中山 兼一

私が本校に赴任して以来、運動会は生徒の人数の変動により大きく変化し続けてきました。特に、本年度3年生にとっては、毎年変更する参加種目に、予想が立たず本当に大変な最後の年になったのではないのでしょうか。

その中、本年度から始まった応援合戦では、3年生は本当によく頑張っていました。今でも声をからしながら団員に応援を伝えているあの応援団の顔を思い出すだけで私自身目頭が熱くなります。

また、各AB組に配属されたI組の生徒とAB組生徒の団結、そして、男女一緒にそれぞれの持ち味を生かしたソーラン節など、それぞれがドラマであり、本校の家族的雰囲気と全ての生徒が何事にも一生懸命に頑張るといふ松濤中学校の伝統は引き継がれている感がしました。

特にソーラン節の最後のシーンで全てのピラミッドが完成し、大喜びをする男子生徒のそばで、涙を流す3年生の女子生徒をみて、今まで培ってきたものを再確認し、また、その上に新しい風が吹いていることも確信いたしました。

まだまだ、英語教育重点校としては未熟ではありますが、本校の今までの伝統を引き継ぎながらも、大きな風を生徒自身で吹かして行って欲しいと願っています。

最後になりますが、本校生徒のために色々とお手伝いをして下さったPTAの方々、そして、何よりも大向地区の皆様は厚く御礼申し上げますとともに、地域共催運動会の更なる発展を心から祈っております。

教 育 実 習 を 終 え て

教育実習生 中尾 右子

3週間の教育実習は、とにかく楽しく、あっという間に過ぎてしまいました。最初の1週間は、運動会の練習もあり、とても慌ただしい毎日でした。私は、ちょうど昨年の運動会があった頃から、松濤中学校でボランティアをさせて頂いています。そのため、運動会に参加するのは2度目でしたが昨年度とは全く見方が違いました。失敗ばかりだった競技の本番での成功、練習を重ねた応援歌、そして裏ですべてを支える先生方や主事さん方の準備があったからです。当日までの過程を生徒たちや先生方と共に迎えた運動会は、今までにない感動を与えてくれました。

毎日の生活を通して、「先生」という立場になってみて初めて気づいた点や現場でなければ経験できなかった事が数多くあり、実際に体験することの大切さに気づかされた実習でした。教師を目指す上で、教育実習から受ける影響は非常に大きいと改めて感じています。皆さんとの関わりの中で、教師である大変さも知りましたが、そのやりがいと、また楽しさも味わうことが出来ました。是非この経験、今後生かしていきたいと思えます。

そして、なによりもこのような貴重な体験を、松濤中学校で出来たことをとてもうれしく、幸運に思います。3週間本当にありがとうございました。

部 活 動 の 成 績

春季バドミントン大会 男子シングルス優勝 3年 劉 匠さん

優勝おめでとうございます。今後の健闘を祈ります